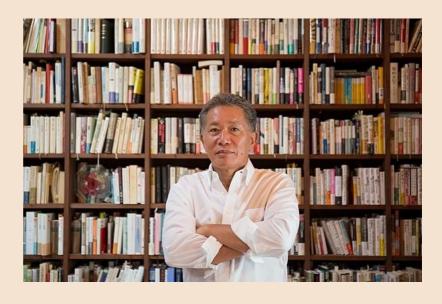
子どもたちの食を守るために私たちができること ~外から来る食とどう向き合う?日本の農業の未来~

【経歴】

講師:内田樹(うちだ・たつる)先生 1950年東京生まれ。東京大学文学部仏文 科卒。東京都立大学人文科学研究科博士課程 中退。東京都立大学人文学部助手、神戸女学 院大学文学部助教授、同教授を経て、201 1年に退職。同年、神戸に武道と哲学研究の ための学塾凱風館を創建。凱風館館長、神戸 女学院大学名誉教授、神戸女学院理事、昭和 医科大学理事、合気道兵庫県連盟理事。専門 は20世紀フランス哲学・文学、武道論、教 育論。



【著書】主著に『寝ながら学べる構造主義』、『ためらいの倫理学』、『レヴィナスと愛の現象学』、『先生はえらい』、『街場の文体論』など。第六回小林秀雄賞(『私家版・ユダヤ文化論』)、2010年度新書大賞(『日本辺境論』)、第三回伊丹十三賞を受賞。近著に『日本型コミューン主義の擁護と顕彰』『知性について』『新版・映画の構造分析』など。

【講演概要】

現在を取り巻く日本の農業はどのようになっているでしょうか。令和の米騒動が起き、値段も高くなって、日本のお米が私たちの食卓から消える事態にまで陥りました。国産の農産物を口にすることさえ、とうの昔に当たり前ではなくなっています。日本の社会とその未来である子どもたちの食は、今どのように侵され、食料自給率の改善を始め、日本の農業を立て直すには、どのような考え方が必要でしょうか。透けて見える対米従属の視点も踏まえ、貴重なお話を伺います。

2025年11月29日(土)15:30~17:00

参加方法: zoom ウェビナーによる視聴(事前予約不要)

このイベントは、オンラインのみで行います。参加を希望される方は、下記人権シンポHPのイベント一覧からご参加ください。

人権シンポHP: https://www.kanaben.or.jp/news/event/2025/sympo2025.html

主 催:神奈川県弁護士会(企画:貧困問題対策本部)・日本弁護士連合会問合せ:神奈川県弁護士会 ☎045-211-7705(平日9~12時、13~17時)